

ぐんま国際アカデミー中高等部

国際バカロレアにおける

非認知能力の評価

ぐんま国際アカデミー中高等部



# IB の使命



国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけます。



# IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

## 探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

## 知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

## 考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

## コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

## 信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

## 心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

## 思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

## 挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

## バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

## 振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

# IBの学習者像

Inquirers

探究する人

Open-minded

心を開く人

Knowledgeable

知識のある人

Caring

思いやりのある人

Thinkers

考える人

Risk-takers

挑戦する人

Communicators

コミュニケーションができる人

Balanced

バランスの取れた人

Principled

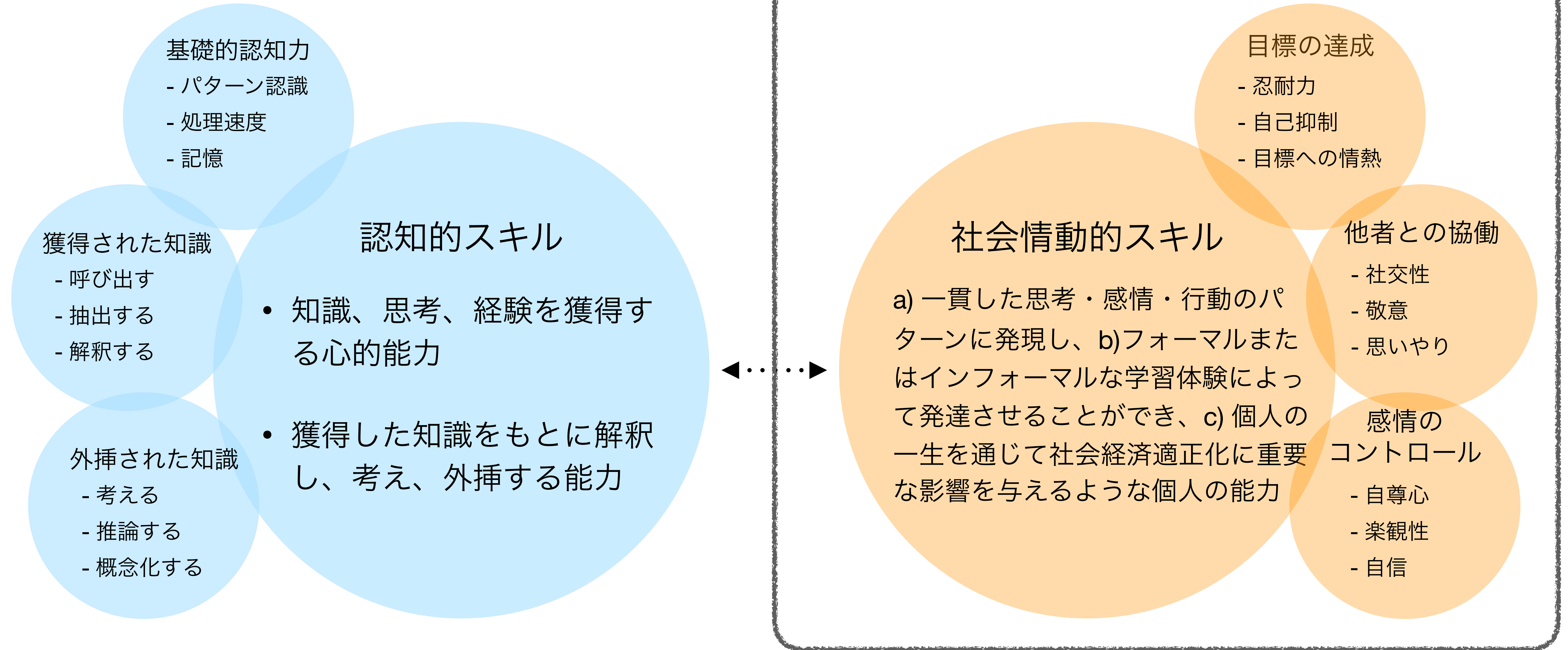
信念を持つ人

Reflective

振り返りができる人

# OECD 認知的スキルと社会情動的フレームワーク

一体どのように評価できるのか？



# 従来の認識では非認知スキルは評価できない。

	従来型の評価	IB/ぐんま国際アカデミーが目指す評価
機能	格付け	フィードバック
規準・基準	集団によって変化する相対評価	ルーブリックに基づく絶対評価
主な評価方法	100点満点の定期考査	ポートフォリオ、作品、論文、プレゼン、試験、プロジェクト、振り返り/自己評価など
通知表	テストによる相対評価が基本となる。	記述的・網羅的に伝えるガイド
生徒の認識	何が、どう評価されるか、明確に示されない。	自分の成長を知る・目標設定の機会 評価対象、方法、過程がわかっている

# 全ての教育活動で非認知スキルを評価するのか？

教育課程  
(中学校の例)

各教科

道徳・道徳科

総合的な学習の時間

特別活動

各学校においては、校長の方針の下に、  
(中略) 各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行うよう努めるものとする。 (文部科学省、中学校学習指導要領 (平成29年告示) p.27)

- どの非認知スキル (資質・能力) に焦点を置くのか？
- それらの学習機会はどこか？
- どこで評価するのか？
- どのように評価するのか？

# 国際バカロレア/ぐんま国際アカデミーの事例

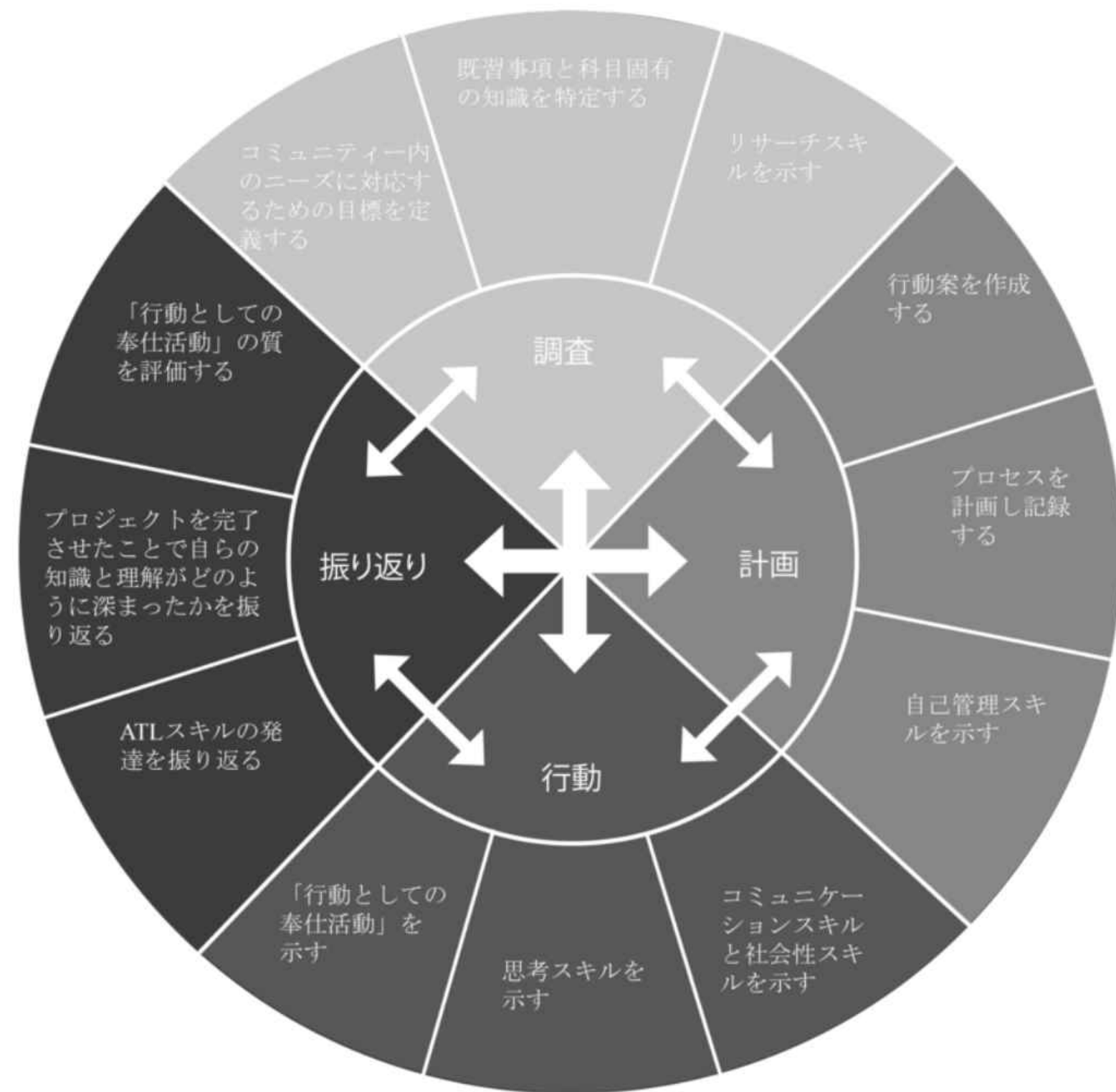
- 各教科において非認知スキルの育むことが推奨されている。
- しかし、各教科の評価ルーブリックに非認知スキルに関する規準はない。
- 一方で、集大成と位置付けられているプロジェクト活動では、非認知スキルに関する評価がデザインされている。

## 各学年のプロジェクト活動の例

中学校3年生	コミュニティプロジェクト (社会課題解決型探究プロジェクト)
高校1年生	パーソナルプロジェクト (自由研究型探究プロジェクト)
高校2-3年生	CAS 活動 (Creativity (創造性) Activity (活動) Service (奉仕))

# コミュニティプロジェクト（中3、社会課題解決型探究プロジェクト）

誰か・何かのために行動を起こす機会（サービス・ラーニング）。  
 他者と協働する機会。  
 さまざまな状況において効果的にコミュニケーションをとる機会。



服のリサイクルとペットの殺処分問題に取り組んだプロジェクト

群馬県産の野菜ブランドの認知度を高めるため、カルタ作りとワークショップを行ったプロジェクト



(国際バカロレア機構 2021 「コミュニティプロジェクト」指導の手引き p.9)



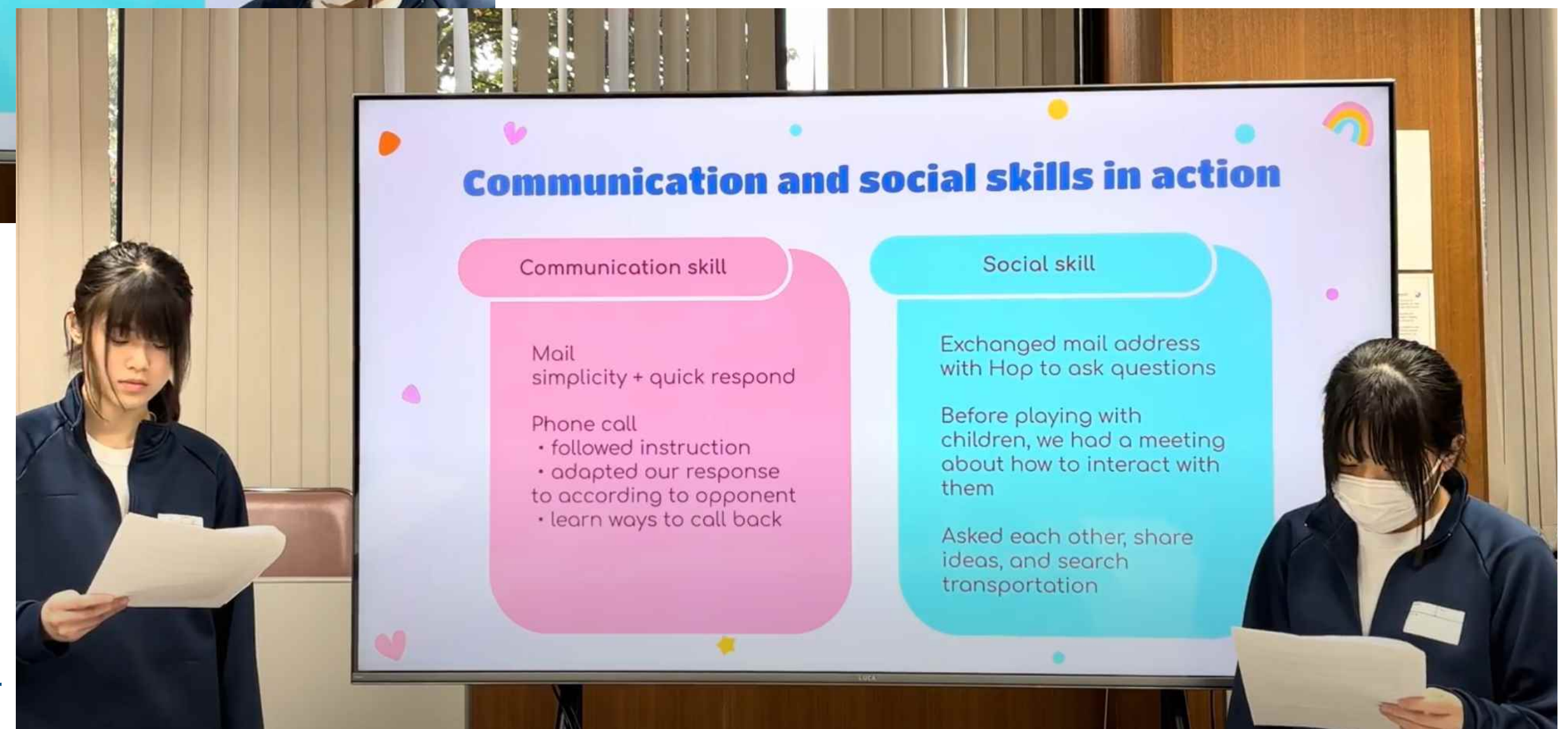
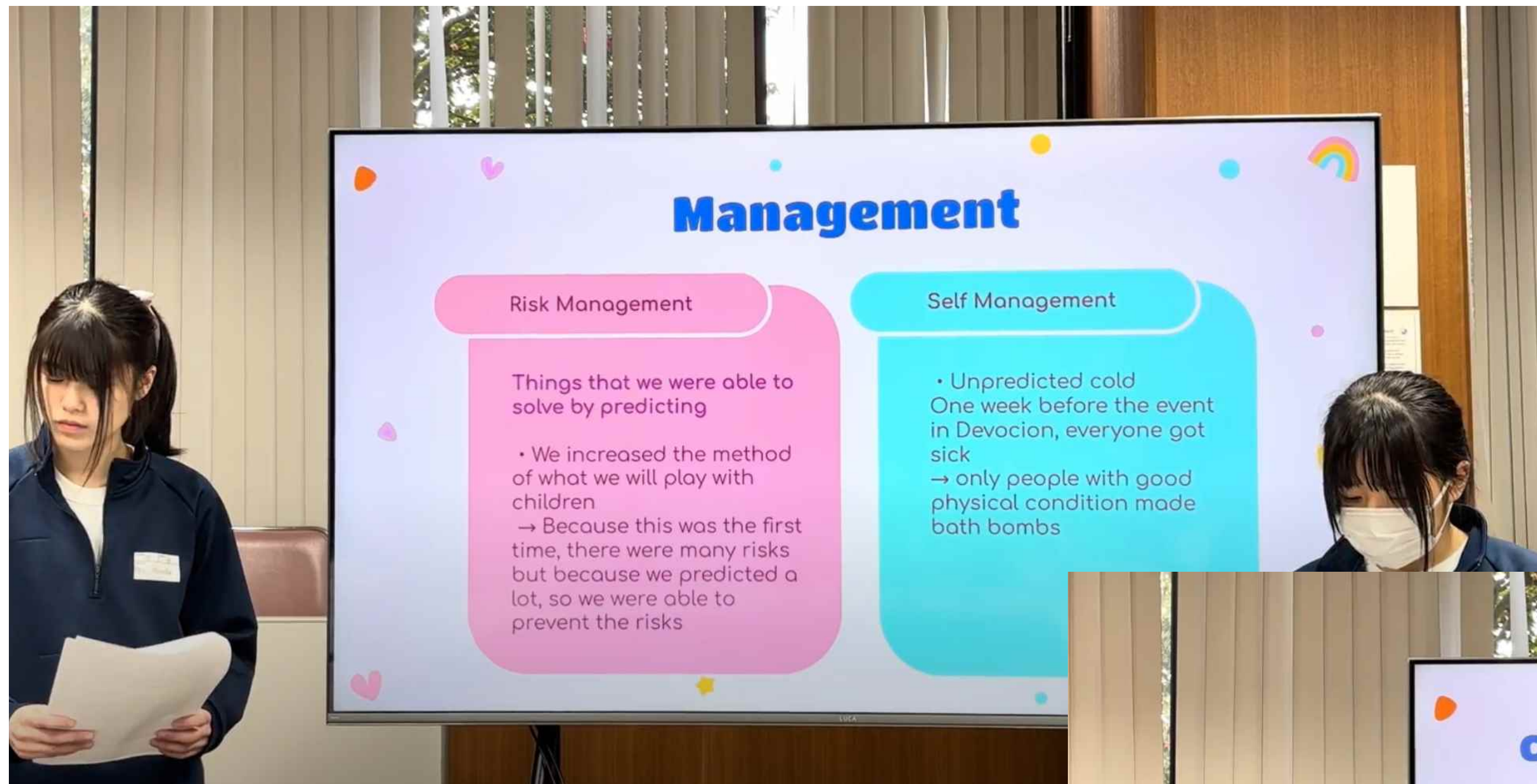
# コミュニティプロジェクト（中3、社会課題解決型探究プロジェクト）

## コミュニティプロジェクトの評価規準

評価規準 A 調査	<ul style="list-style-type: none"><li>i. 個人的な興味に基づき、コミュニティ内のニーズに対応するための目標を定義する。</li><li>ii. プロジェクトと関連性のある既習事項と科目固有の知識を特定する。</li><li>iii. リサーチスキルを示す。</li></ul>
評価規準 B 計画	<ul style="list-style-type: none"><li>i. コミュニティーのニーズに取り組むための行動案を作成する。</li><li>ii. プロジェクトの進行過程を計画し記録する。</li><li>iii. <u>自己管理スキルを示す。</u></li></ul>
評価規準 C 行動	<ul style="list-style-type: none"><li>i. コミュニティーのニーズに取り組むための行動案を作成する。</li><li>ii. プロジェクトの成果として、「行動としての奉仕活動」の実施を示す。</li><li>iii. 思考スキルを示す。</li><li>iv. <u>コミュニケーションスキルと社会的スキルを示す。</u></li></ul>
評価規準 D 振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>i. 自己管理スキルを示す行動案に照らし合わせて、「行動としての奉仕活動」の質を評価する。</li><li>ii. プロジェクトの完了により、サービスラーニングについての知識と理解がどのように深まったかを振り返る。</li><li>iii. <u>ATL スキルの発達を振り返る。</u></li></ul>

# コミュニティプロジェクト (中3、社会課題解決型探究プロジェクト)

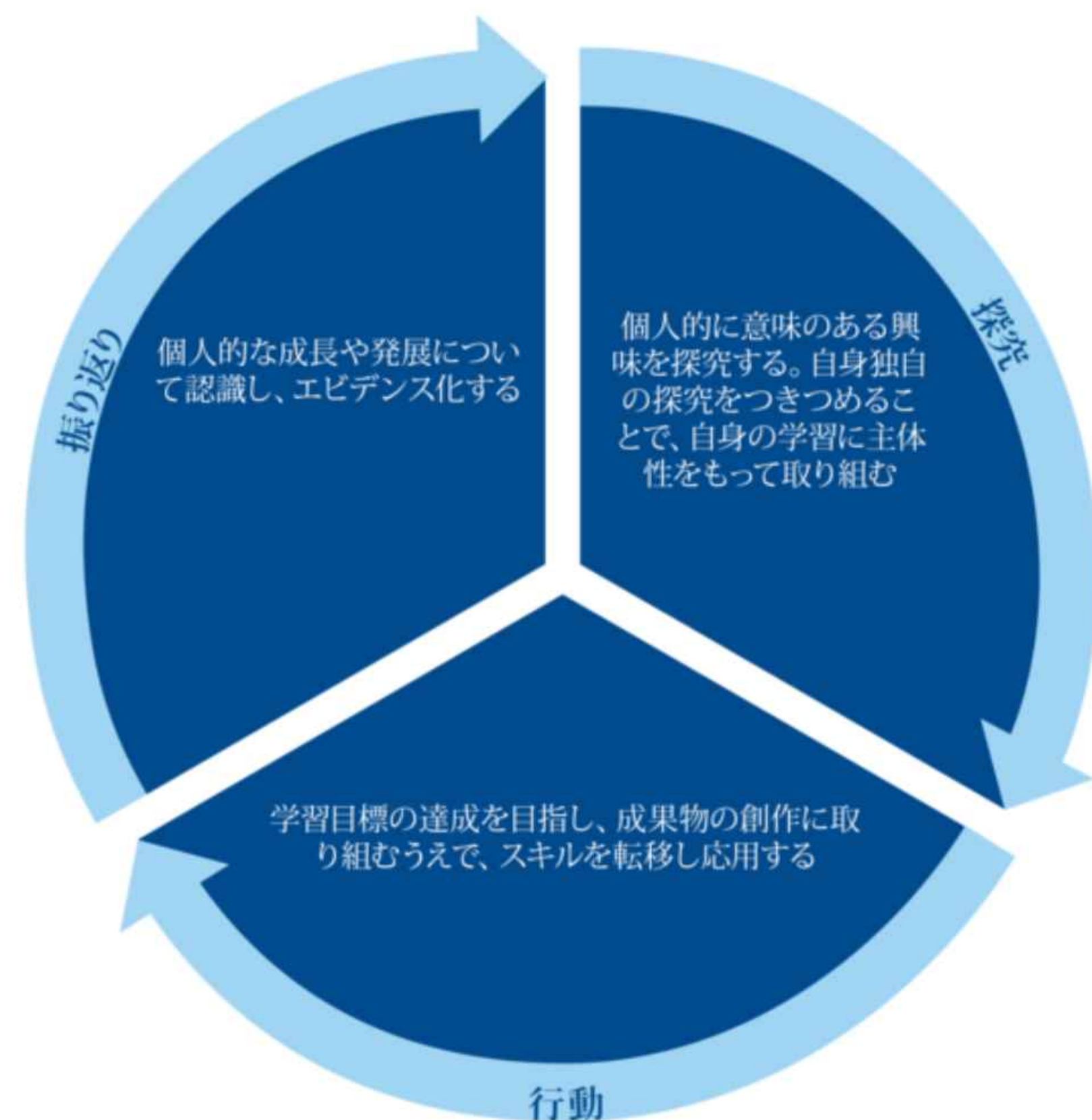
リスクマネジメントと自己管理スキルを用いた・磨いた機会に関する発表の場面



コミュニケーション、ソーシャル・スキルを用いた・磨いた機会に関する発表の場面

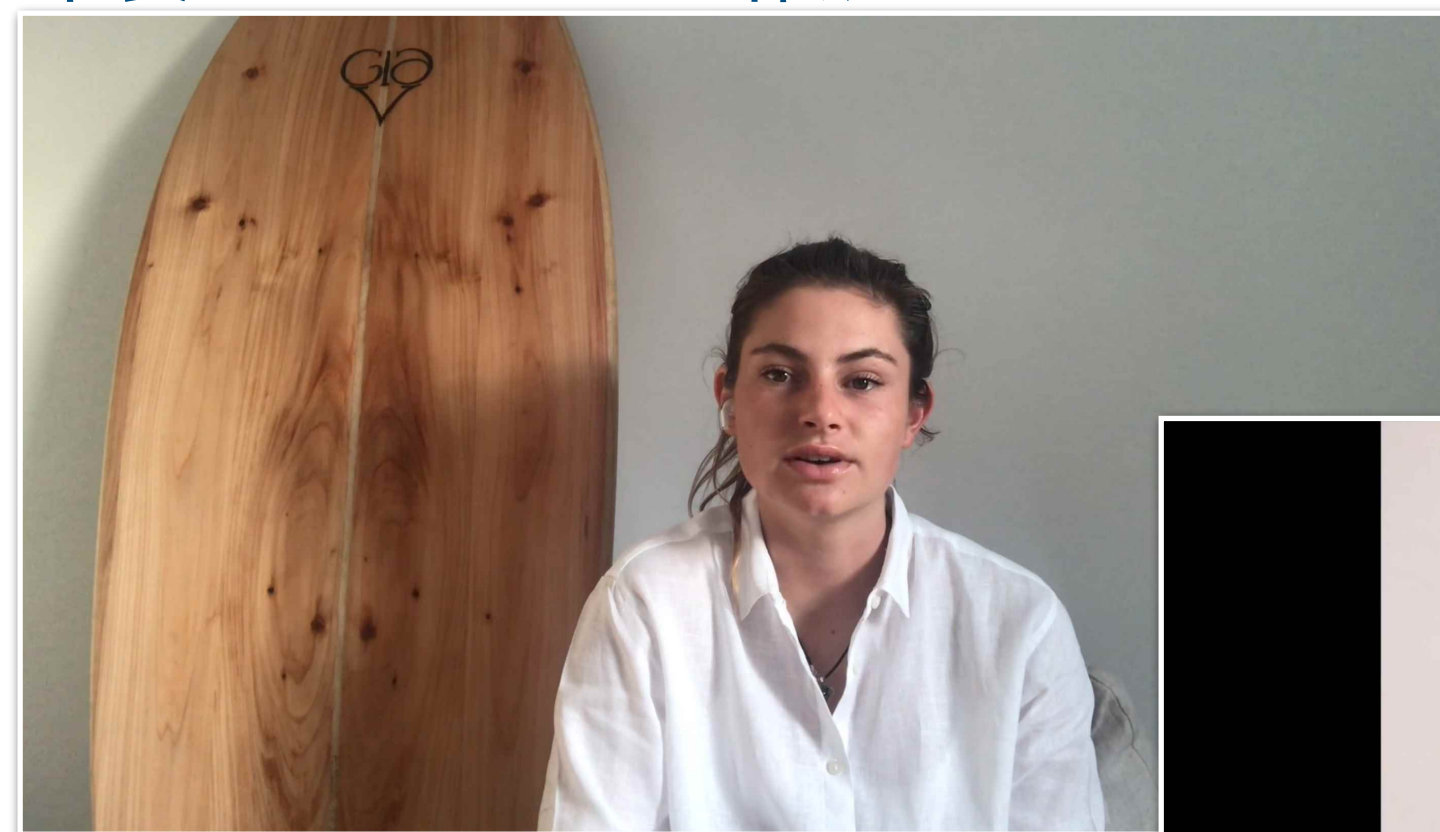
# パーソナルプロジェクト (高1、自由研究型探究プロジェクト)

個人的な興味をつき詰める機会。  
学習目標、成果物、成功規準を自分で設定する機会。  
本校では2024年度より実施予定。



(国際バカロレア機構 2021 「パーソナルプロジェクト」  
指導の手引き p.9)

## 木製サーフボードの作成

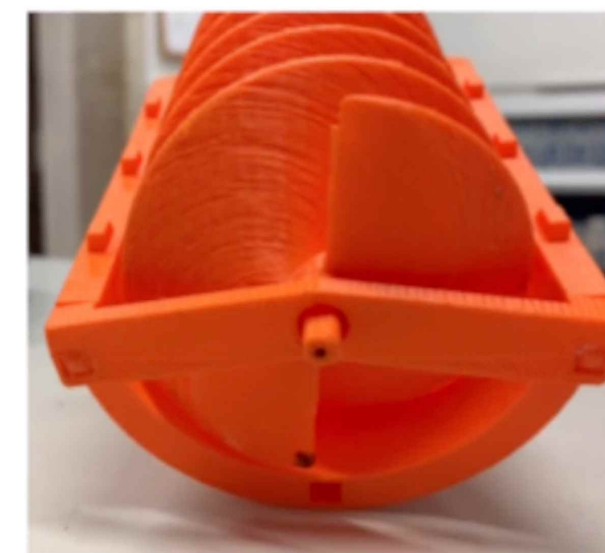


## 自作の絵本と読み聞かせ



Which then leads to the question: Would it be possible for the screw to be more efficient in one country compared to another? The answer is yes, because as mentioned above, although in theory, pure, freshwater has the density of  $1 \text{ gcm}^{-3}$ , it can easily be altered depending on the salinity or temperature. Looking at the temperature, water is the densest at  $0 \text{ }^\circ\text{C}$ . However, this temperature is the water's freezing point, and the screw must be used with liquids to fully function.

Salinity also has a large impact on density. Where there is high salinity, in seas and oceans, there is the highest density, making the screw less efficient. In contrast, rivers and dams have very low salinity, providing a great opportunity for the screw to be used. In addition, since the screw can be made with a variety of materials ranging from woods to plastics, to metals, and since river and dam water is easily filtered compared with sea water, both these factors make the Archimedes screw a very useful tool for less developed countries in need of clean water.



## アルキメデスの原理と液体の密度に関する研究

# パーソナルプロジェクト（高1、自由研究型探究プロジェクト）

## パーソナルプロジェクトの評価規準

評価規準 A: 計画	<ul style="list-style-type: none"><li>i. プロジェクトの学習目標を述べ、その目標が個人的な興味からどのように導きだされたかを説明する。</li><li>ii. 意図した成果物について述べ、その成果物に対して適切な成功規準を設定する。</li><li>iii. 成果物を実現するための明確で詳細な計画および、それに関連する成功規準を提示する</li></ul>
評価規準 B: スキルの応用	<ul style="list-style-type: none"><li><u>i. 学習目標を達成するうえで、ATLスキルがどのように応用されたかを説明する。</u></li><li><u>ii. 成果物を実現するうえで、ATLスキルがどのように応用されたかを説明する。</u></li></ul>
評価規準 C: 振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li><u>i. プロジェクトが自分自身また自分の学習に及ぼした影響を説明する。</u></li><li>ii. 成功規準に基づき、成果物を評価する。</li></ul>

# CAS 活動 (高2-3、Creativity (創作性) Activity (活動) Service (奉仕))



Otan Project  
地元・地域活性化

太田市の店舗の協力を仰ぎ、コロナ禍の中でも安心して楽しめる地域イベントとして地域・店舗ビンゴを開催。イベントによる地域の活性化に繋げるイベントとして実施。



No Boundaries Between Us  
地域・国際交流

ブラジル人コミュニティとの交流の場を設けるため、サッカーを通じた地域・国際交流イベントを実施。延べ5回開催、幼稚園生から大人まで、のべ500人以上の参加。地域で問題となっている、ゴミの捨て方等の啓発活動も合わせて行う。



Yellow for the future  
ファンドレイズ

小児がん医療支援のため、群馬クレインサンダーズのホーム・ゲームでレモネードを販売し、売上金を寄付。株式会社「オープンハウス」、群馬クレインサンダーズ、ポッカサッポロフード&ビバレッジの協力のもと。2022年6月時点で、2,530本、総額50万4,956円を売り上げる。

# CAS 活動 (高2-3、Creativity (創造性) Activity (活動) Service (奉仕))


## 意図された学習成果

学習成果 1	自分の長所を理解し、これから <u>個人として成長して行くべき分野を特定</u> する。
学習成果 2	課題に挑戦し、その過程で <u>新しいスキルを習得したことを実証</u> する。
学習成果 3	CAS <u>活動を計画し、開始する方法</u> を示す。
学習成果 4	CAS 活動を継続し、 <u>やり遂げる粘り強さ</u> を示す。
学習成果 5	ほかの人と <u>協働するスキル</u> を実証し、その意義を認識する。
学習成果 6	グローバル (地球規模) な意義のある問題に取り組む。
学習成果 7	選択と行動の <u>倫理的な側面を意識</u> し、それについてよく考える。

## まとめに代えて

- 非認知スキルを評価することは可能。評価は「生徒が自分の成長過程を知る機会、フィードバックをもらう機会」と捉えることが重要。
- 教員による評価に加え、自己評価や相互評価により、「生徒が非認知スキルに関する認知とメタ認知を高めること」が重要。
- 非認知スキルはカリキュラム全体で育むものだが、「どの学習機会にどの非認知スキルを評価するか」をデザインすることが重要。（総合的な学習・探究の時間、特別活動が重要な役割を果たす。）

# Learner Profile Award (本校独自の取り組み、参考)




## IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

**IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。**

<p><b>探究する人</b> 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。</p>	<p><b>心を開く人</b> 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。</p>
<p><b>知識のある人</b> 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。</p>	<p><b>思いやりのある人</b> 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。</p>
<p><b>考える人</b> 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。</p>	<p><b>挑戦する人</b> 私たちは、不確かな事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と機知に富んだ方法で快活に取り組みます。</p>
<p><b>コミュニケーションができる人</b> 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。</p>	<p><b>バランスのとれた人</b> 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生活を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。</p>
<p><b>信念をもつ人</b> 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々をもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。</p>	<p><b>振り返りができる人</b> 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。</p>

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。



© International Baccalaureate Organization 2013  
International Baccalaureate® | Baccalauréat International® | Bachillerato Internacional®



**TEACHER**

**GUNMA KOKUSAI ACADEMY**

**SCHOOL LEARNER PROFILE AWARD**

**MR KANEKO**

is hereby awarded the IB Learner Profile attribute of

**PRINCIPLED**

22 MARCH 2023

*Hiroyuki Kaneko*  
**HIROYUKI KANEKO**  
Principal

